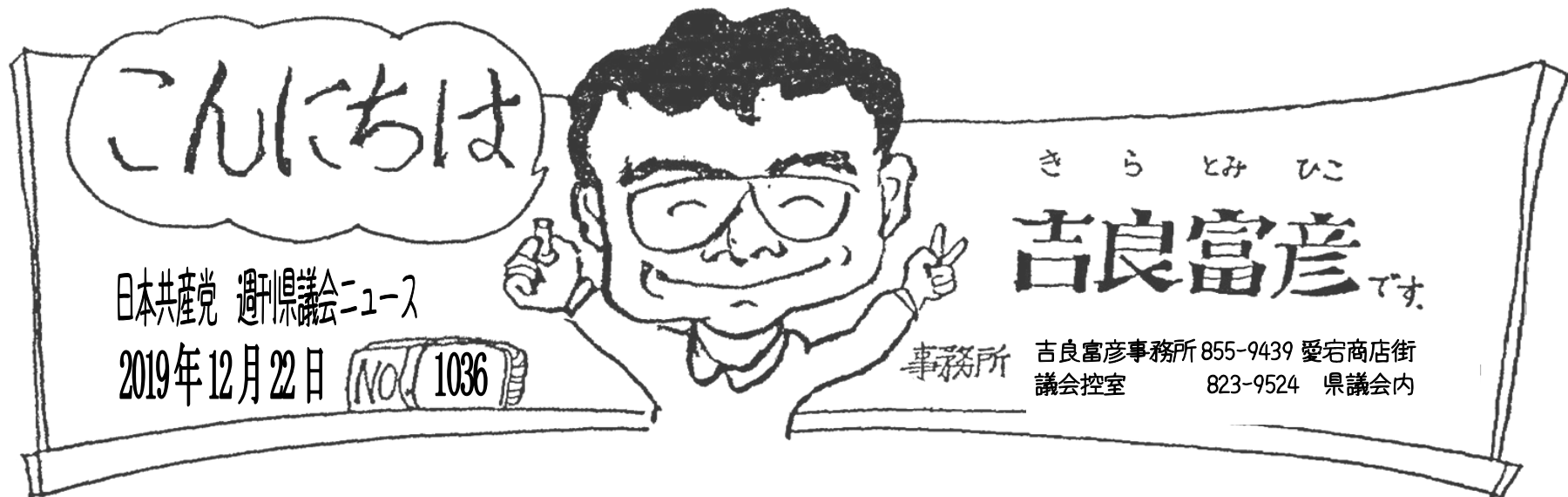




学校や教員の教育権侵害 伊藤県教育長認める

「学テ」点数アップ強要 中部教育事務所

●17日、
県議会代表
質問に米田
みのる議員
がたち、全

国学力テストの点数を上げることのみを自己目的化した県教委の指導文書を示し、「現場教員の教育権を踏みにじるもの」と厳しく批判。教育行政としての権限を大きく逸脱した文書類での「指導」という名の強要の即刻中止を求めました。

●答弁に立った伊藤教育長は「中部教育事務所が出した文書は、過年度の学テの活用を指示し、正答率を自己目的化すると捉えられかねない内容。直ちに撤回し今回ご指摘いただいた部分を全て削除したうえで出し直しするよう指示した」と権限を逸脱していたことを認めました。そして、「県教委が、このような市町村教委や学校の権限や裁量の範囲を超えた指示、と捉えられるような文書や、点数を上げることと自己目的化すると捉えられるような文書を出すことはあってはならない」と述べた。

今年もご愛読下さり有難うございました。よいお年をお迎えください。 吉良富彦

学校が負担に感じる事 十分な配慮が必要

●「他にも
現場教員の
頭越しに指
導を押し付

ける実態はないのか調査は？」との問いに教育長は、「他にも、点数アップへの書き込みシートの様式を示すなど、学校が負担に感じるような取り組みがあった」ので「先日、緊急に教育事務所長会を開催し、市町村教委や学校の権限や裁量の範囲を超えることがあってはならない、学校の負担感についても十分な配慮が必要だと、私が全ての教育事務所長と直接確認をしたところだ」と答えました。

●先の9月県議会で、全国学テの抽出実施と県版学テの中止を求め、合わせて学テの順位アップを目標に掲げた県の教育大綱の見直しを求めた吉良質問に、前知事は「学力テストの結果だけが、自己目的化することはいけない」と答弁しているが、浜田新知事もその立場か？との問いに新知事は「私も数値や順位だけを追い求め、その結果が自己目的化するようなことがあってはならない」との考えを示しました。



中ラリン
にやんでも通信

しん
と協
力
す。
の
皆
さ
援
セ
ン
タ
し
て、
支
を
新
た
に
を
求
め
て
い
く
決
意



●十二月十二日「ビキニ核被災国家賠償訴訟」で高松高裁は「控訴棄却」の不当判決！梶原守光弁護士は「揺れ動く司法の独立 嘆きつつ人権の砦 どこへ行く」と司法が政治に屈し日本三権分立の危機だと訴えました。一方、漁船員らの被爆事実は認め広島、長崎と同様の救済を立法院及び行政府に強く促しています。原告団長の増本和馬さんが五日早朝に亡くなられています。高齢化もあり被災船員救済は待たなす。県と国に対し強力に救済を求めていく決意